

高校生の行動と力を地域へ ～作新学院ボランティアセンターの取組～

社会の担い手として社会の創造に寄与できる青少年を育むため、生徒の主体性に基く様々なボランティア活動や学習活動を支援・推進

関わっている人〈幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、青年、成人〉

☆活動名 見つける。考える。行動する。 人のために、いま自分ができること。

【活動の趣旨】 ボランティア活動の機会と場を提供し、生徒の主体的・自発的な学習活動や社会参加を応援。ボランティア活動をととして積極的に地域社会と関わることで、豊かな創造力、主体的にものごとに取り組む力、思いやり、共感する心を育むことを目的に、高校生の活発なボランティア活動を支援している。

【共催、連携】 地域に根ざした活動、地域とともにある活動を目指しており、県内の様々な機関、ボランティア団体、地域組織と活動とともに展開している。

【対象・人数・条件】 作新学院高等学校全生徒 5,800名

【始めるきっかけ】 積極的に地域との関わりやこれからの社会の担い手としての役割を持ち、社会の創造に寄与することのできる青少年を育むために、青少年の主体的・自発的な学習活動や社会参加を支援し、作新学院の児童・生徒の様々な体験活動の機会を充実し、ボランティア活動の充実と振興を図り、総合的かつ計画的に推進するためボランティアセンターを整備。

【広報のしかた】 「地域の情報・ニーズを高校生へ」として学校内外からのボランティアの依頼、ボランティアに関する研修会やイベント情報を各校舎の掲示板で紹介、各クラスへのボランティア募集のプリントの配布、広報誌・作新ボラナビの発行（不定期）などの情報提供を行っている。

【活動内容】 ①ボランティア・バンク
生徒が「できる活動」、「興味・関心がある活動」、「やってみたい活動」を登録し学校内外からのボランティア募集に対して希望に合う生徒に連絡することで、活動の場と機会を提供する。また、生徒が企画・提案するボランティア活動をバンクに登録し、地域に提案することで活動を実現させていく。

②ボランティア活動に関する講座・研修会の企画
生徒の企画による「命の授業」、「ボランティア入門講座」、「点訳体験講座」など知識・技術の習得の支援や、活動をはじめするための基礎知識、技術を学習するテキストの作成や研修会を企画運営し、活動を支援している。

③調査・研究と教材・学習事業の開発
「完全学校週五日制」の実施に伴う小学生や養護学校の児童生徒の放課後、休日の過ごし方に関するアンケート調査を関連機関と連携を図りながら実施し、高校生として支援できる活動を提案、推進し、ボランティアの新たな展開と可能性を探っている。

④ボランティア関連施設・団体との連携とサークル・部活動等の支援 ボランティア関連部活動だけでなく、琴部やカルタ部が小学生のための講座を地域と連携して開催する等、地域や施設との連携・協力を推進するとともに、団体・サークル部活動等の連携交流を支援する。

【成果と課題】

ボランティア・地域活動への関心が高まり、活動への参加希望が増加している。また、生徒自身が企画を立て地域の人たちと一しょに活動を展開していくという積極的な面も見られるようになり、自分の生活する地域の課題に対して関心が高まっている。

☆これから始める人へのメッセージ

あなたの思いを形に、そして行動へ

作新学院ボランティアセンター

代表者 森 照代

所在地 〒320-8525

宇都宮市一の沢 1-1-41 作新学院高等学校内

電話/FAX 028-648-4623/028-648-0404

E-mail shcenter@educet.plala.or.jp

U R L <http://www.sakushin.ac.jp/>

